

委員会名	自己点検者（委員長名）	①当該年度の活動内容の概要 （簡条書きで良く、参考資料は不要）	②委員会内での自己評価と問題点の抽出 （簡条書きで良く、参考資料は不要）	③次年度の改善方策 （簡条書きで良く、参考資料は不要）
進路就職支援委員会	進路就職支援委員長（石川洋一）	<p>(1)1～3年次においても本委員会・キャリア支援課によりキャリアガイダンス等を開催し、低学年からのキャリア形成支援を行っている。</p> <p>(2)令和3年度はコロナ禍により学生の登校やキャリア支援課での面談が大きく制限された。この状況下、本学では、昨年同様に保有する情報通信施設を最大限に活用し、進路就職ガイダンス、企業・薬局合同セミナー、病院合同セミナー、公務員ガイダンス・公務員セミナーをすべて動画配信で開催し、これらを中止することなく、学生への情報提供を行った。</p> <p>(6)コロナ禍の影響で、参加企業のインターンシップが中止やリモート開催と成り、実体験を伴わない講義形式に変更されたり期間短縮となったりしたため単位を認めることはできなかった。しかし、大学に提供されたインターンシップの参加枠を有効利用するため、学生が参加できるように周知し、応募のサポートを行った。</p>	<p>(1)本学における学生へのキャリア支援活動は概ね適切に実施されている。</p> <p>(2)インターンシップの実施時期が、本学5年生の実習期間に重なってしまい、授業優先のルールでインターンシップに参加できない学生が増えている。また、製薬企業が実施するインターンシップは、最近採用に結び付く傾向が見受けられ、インターンシップ参加者が、採用者の半数近くに及ぶ製薬企業が見受けられる（製薬企業人事担当者ヒアリング）。このことから、製薬企業への就活が難しくなり、本学からの就職者が減少している。</p> <p>(3)カリキュラムが過密であり、学生を集めて実施する正課外の進路支援ガイダンスの日程選定が難しい状況が続いている。</p>	<p>(1)適切な開催時期やガイダンスの内容を検討した上で、できるだけ早く、学事スケジュールとの調整を行ない、ガイダンス開催を維持する。また、日程調整の難しいガイダンスは、オンデマンド配信に切り替えてでも、適切な時期に情報を届ける。</p>